

NPO法人 学童保育ざりがにクラブ

社会福祉学部社会福祉学科 2年 笹原 奈津希

活動先：NPO 法人 学童保育ざりがにクラブ

クラス：村上 徹也 先生

1. どんな NPO でどんな活動をしたか

私は、南加木屋にある学童保育ざりがにクラブで活動をさせていただいた。まず、ざりがにクラブがどのような NPO なのかを紹介する。

特定非営利活動法人ざりがにクラブは、1979年に共同保育所卒園児童の親たちの学童保育つくり運動により、「加木屋南学童保育ざりがにクラブ」が誕生した。公的な助成もなく、父母会の運営の中でプレハブ施設を購入して行った。1999年に東海市の事業開始に伴い、市内唯一の民間学童保育として東海市放課後児童健全育成事業の委託を受ける。そして2003年に NPO 法人となった。

次に、6日間のサービスマーケティングでの活動について紹介する。

1日目は特に行事はなく、夏休みの普段のざりがにクラブの様子を見ることができた。子どもたちの夏休みの宿題などを教えたり、採点したりした。また、けん玉検定といって子どもたちが様々な技に挑戦するのを審判したり見守ったりした。お昼からは公園に行き、主に女の子たちと鬼ごっこや木の実を拾ったりした。

2日目は選択のプールの日だった。一部の子どもたちだけプールへ行き、残りの子どもたちはざりがにクラブで過ごした。私はざりがにクラブに残り、子どもたちとざりがにクラブで活動をした。

3日目は私たちが考えた学生企画を行わせていただいた。企画内容はビンゴゲームで、子どもたちに手作りのビンゴカードを配り、1から99までの好きな数字を書いてもらい、数字の書いた紙を順番にひいてもらった。ビンゴになった子から景品として好きな駄菓子を選んでもらった。うまくいかなかった部分もあり課題は残ったが子どもたちや指導員さんから楽しかったと言ってもらえることができ、嬉しかった。

4日目は子どもランチだった。子どもランチとは、子どもたちがいくつかの班にわかれて自分たちでメニューを考え、買い物に行き、料理を作る。私も班に入れてもらい、一緒に料理を作った。

5日目も特に行事はなく、1日目と同じように活動した。この日に初めて男の子とたくさん関わる事ができた。

6日目は全員で知多海浜プールに行った。プールでは子どもたちと鬼ごっこをしたり、ボールで遊んだりした。

2. 活動を通じた成長や気づき

サービスマーケティング活動を通して、様々な経験をする事ができ、自分の中で課題や理解したことも増えた。私がサービスマーケティング活動にざりがにクラブを選んだ理由は、今まで高齢者の方や障害者の方とは関わったことはあるが、子どもたちと関わる事がほとんどなく、福祉の視野を広げるためであった。

活動を行う前は子どもと遊んだり話したりするというイメージが強く、大変というよりも楽しそうという気持ちの方が大きかった。しかし、実際は楽しいだけではなかった。子どもたちとの関わり方や距離の取り方、話す内容などがわからなくなる時があった。

一番難しいと感じたことは、子どもたちが何か悪いことをしてしまった時にしっかり注意ができなかったことである。私の場合は子どもたちに対して「ダメだよ」「危ないよ」などといった声掛けしかできなかった。そのことを指導員さんに話すと、注意する時はただ言うのではなく、なんでダメなのか、どうしてやっちゃいけないのか、ということ子どもたちにしっかり教えて注意しなければならないと教えていただいた。

また、今回学生企画を行わせていただき、そこから課題も生まれた。私たちの中では事前にしっかり準備ができていたと思っていたのだが、実際に企画を始めてみると細かい部分を曖昧にしていたせいかその場で急に変更した部分もあり、もっとしっかりと事前に準備や打ち合わせをしておくべきだったと反省した。この反省を次回またこのような機会があった時に活かせるようにしようと思った。

他にも様々な出来事があり、振り返ってみればサービスマーケティング活動の一つひとつが自分を成長させてくれたような気がする。

3. サーマーケティング全体を通して地域活動や市民活動について理解したこと

私が活動させていただいたざりがにクラブは、施設自体はそれほど大きくないが、50人近くの子供たちがいて、私はこのNPOを必要としている人がたくさんいるのだと感じた。また、このざりがにクラブだけではなく地域にはNPOを必要としている人がたくさんいると私は考えた。しかし、NPOを必要としていてもNPOの存在を知らない人もいるかもしれない。地域の中でNPOを必要としている人にNPOのことをより知ってもらえるようにすることが大切だと私は思った。

4. 来年度の学生へのメッセージ

来年度の学生へ伝えたいことは、子どもたちや指導員さんとたくさん関わってほしいということ、何事も積極的に行うこと、目標をもって取り組むこと、楽しむことである。関わってみなければ得ることも理解できることも少ないと私は思う。だからまずはたくさん子どもたちや指導員さんと関わって自分の中で様々な気づきや疑問などを得ることが大切だと思う。また、活動を有意義にするために目標をしっかりとたてて活動に臨むことも大切だと思う。そして、大変だと思っても楽しむことが一番だと私はサービスマーケティングを通して感じた。